

議会基本条例説明会における意見（参加者の発言）への対応について

1 意見 33件

分類	件数
議会基本条例全体に関する意見	6件
議会基本条例の検討の進め方に関する意見	1件
議会基本条例説明会に関する意見	3件
議会基本条例骨子の各項目に関する意見	16件
「第4 市民と議会との関係」	(11件)
「第5 市長等の執行機関と議会との関係」	(1件)
「第6 議会運営の原則等」	(2件)
「第7 議会の権能強化」	(2件)
その他	7件

2 対応

以下に基づき分類し、表中「対応欄」に「○」又は「－」を記入。

記号	内容
○	・ 条例案の作成に当たって、検討を行うもの。
－	・ すでに取り組を実施しており、検討を要しないもの。 ・ 御意見又は御感想として頂くもの。 ・ 御質問に対して説明会の場で回答済みであるもの。

番号	意見	対応
○ 議会基本条例全体に関する意見		
1	地方自治体の権限はどのように拡大しているか。議会基本条例によって、地方自治体の権限はどのように拡大するのか、市民にとってどのような効果があるのか。	—
2	議会基本条例(骨子)の中で、「基本理念」や「議会報告会・意見聴取会」について、意見が分かれているが、その理由を聞きたい。	—
3	内容は素晴らしいと思うが、具体的にどう動くのか分からない。市民、公務員との関わりをどう考えているのか。	—
4	市民の意見をもっと取り入れていくべきだと思う。この条例をどう実行していくかに力を入れてほしい。	○
5	会社でも理念や指針を策定しているが、なかなか社員に浸透しないのが実情である。この条例が議員全員に浸透するようにしてほしい。	○
6	京都市の経済の活性化についても項目として加えてほしい。	—
○ 議会基本条例の検討の進め方に関する意見		
1	パワーポイント資料の中で、条例制定に向けた今後の流れとして、「市民の皆様との意見交換」と記載されているが、支援者の方々だけでなく、一人一人の「市民」の声を聴いてほしい。	○
○ 議会基本条例説明会に関する意見		
1	超党派でこのような説明会を行うことは画期的なことである。	—
2	議員から直接話を聞ける機会はこれまでなかったので、すごいことだと思っている。	—
3	フェイスブックを活用している議員には、発信のみの方もいるが、書き込みを返してくれる方もいる。市民を巻き込んだ発信ということで、今回のような市民の声を聴く場を設けてもらったことは素晴らしい。	—
○ 「第4 市民と議会との関係」に関する意見		
1	「第4 市民と議会との関係」の2①「市民との情報共有や市民の参画の機会を充実させる」とは具体的にどういうことか。	—
2	請願・陳情について、市民が自ら委員会で趣旨説明をできるようにしてほしい。	○
3	議会の議論で活用された資料については、全て公開してほしい。	○
4	委員会における上下水道や防災に関する議論の内容が市民に伝わるように、積極的に公開してほしい。	—
5	本会議の傍聴に来られた高齢者にとって、階段を使って傍聴席に上がるのは大変である。車椅子用の通路から高齢者が入れるようにしてほしい。また、庁舎のバリアフリー化の取組が必要である。	—
6	KBS京都で放映している本会議の視聴率が低いという話があったが、本会議の様子を動画でインターネットに配信してほしい。	—
7	多くのサラリーマンは、なかなか平日の昼間に本会議や委員会を傍聴することができないため、例えば、本会議を土日に、委員会を夕方から開催することなどはできないか。	○

番号	意見	対応
8	ネット中継を常任委員会に拡大する予定はあるのか。	—
9	現在、ネット中継の録画放映は、生中継終了の3日後から見られるようになっているが、もう少し早く見られるようにしてほしい。国会では、遅くとも翌日には見られるようになっている。	○
10	小中学生向けに議会の見学会を開催し、議員の役割等を知ってもらう機会を設けてはどうか。	○
11	広聴の充実を図るためにも、意見聴取会を是非やってほしい。	○
○ 「第5 市長等の執行機関と議会との関係」に関する意見		
1	議会と市長との関係について、議会基本条例(骨子)では抽象的に述べられているが、実際は、どのように市長との関係を築いていくのか。当然、議会と市長の意見が対立することもあると思うが、どのように調整するのか。	—
○ 「第6 議会運営の原則等」に関する意見		
1	本会議の質問を聞いていると、議員の質問内容は分かりやすいが、理事者の答弁内容が不明確で何を言っているのかが分からないことがある。明確な答弁をするよう議員から求めてほしい。	—
2	本会議におけるやじで、発言内容が聞き取れないことがある。やじは不規則発言であり、運営に工夫をすべきではないか。	—
○ 「第7 議会の権能強化」に関する意見		
1	会派間でのやり取りで終わることが、市民にとって市会が見えない大きな要因である。超党派による政策研究会を常設するなどして、市会としての活発な政策提案を行ってほしい。	○
2	議会基本条例(骨子)の中で、「専門的知見の活用」や「調査機関・附属機関の設置」について記載されているが、予算措置はなされるのか。	○
○ その他		
1	伏見区は橋の数が多いことから、これらの災害への対応等についても、委員会で積極的に議論してほしい。	—
2	京都特有の自治の歴史について、よいところは引き継いでほしい。	—
3	国政についても、もっと考えるべきである。	—
4	京都市の赤字財政について、どう考えているのか。	—
5	市政協力委員制度について、委員を選ぶだけで終わっているが、きっちりと手引のようなものを策定するなど指導をしてほしい。	—
6	地方選挙の投票率が国政選挙のそれに比べると低いことについて、どのように分析し、どう改善しようと考えているのか。	—
7	京都市は2兆円の赤字を抱えていると聞いているが、市民しんぶん平成25年1月1日号では、「最大373億円あった赤字を解消できました。」と記載されている。市民に分かるように、きちんと記載してほしい。	—